

古い書類・手紙・日記
が出てきたら

岡山史料ネットにご連絡をお願いします！



歴史資料とは？

- ◎古文書（和紙に墨で書かれた書類など）
- ◎古い本
- ◎写真・絵・手紙・日記など
- ◎掛け軸・古いふすま・屏風など
- ◎自治会や組合などの団体の記録
- ◎古い食器・着物・農具など

水害により被災された皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。

私たち岡山史料ネットは、災害から歴史資料を守る活動を行なうボランティア団体です。これまでも多くの災害現場で資料の救出に当たってきました。

歴史資料は、皆さまの家や地域の歴史を伝える貴重な文化財です。これからの復興にあたって、心の支えとなってくれるにちがいありません。紙くずのように見えるものでも、貴重な歴史資料である場合がよくあります。ゴミ出しの前にぜひ一度ご確認お願いいたします！

水にぬれたり泥をかぶったりしても資料の修復は可能です。

「もうダメだ」とあきらめて捨てたり焼いたりせず、下記まで直接ご相談ください。資料の整理や一時保管などをお手伝いします。

お問い合わせ・ご相談は

岡山史料ネット（代表 今津勝紀・岡山大学教授）

〒700-8530 岡山市北区津島中 3-1-1 岡山大学文学部内

電話&FAX 086-251-7408

e-mail : kimazu@cc.okayama-u.ac.jp

Twitter : @okayamasiryonet (右記 QR コードをご利用ください)



応急処置方法

水濡れの歴史資料を乾かすには…？

※古い記録、古文書(こもんじょ)、写真… 残しておきたいものを捨てないですむように、ご家庭でできる簡単な処置方法をご紹介します。もっとも、完全に乾かすためには、専門家の技術が必要です。お困りになった際は、いつでもご連絡ください(裏面)。相談に応じます。

◇◆やってはいけないこと◆◇

- * 冊子を無理にこじあけないでください。
- * 天日やアイロン・ドライヤー・電子レンジでの急激な乾燥は歴史資料を傷めますのでおやめください。
- * とにかく捨てないでください！ ⇒ 迷った際はすぐにご連絡を！

◇◆応急措置の方法◆◇

全てを行う必要はありません！電気や水道のライフラインの復旧状況が許す範囲内でご対応下さい。

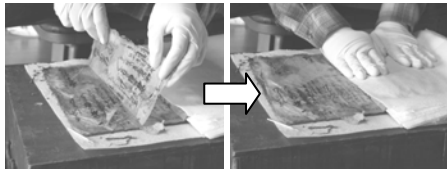
軽い水濡れの場合

【紙の歴史資料の場合】

- * 防カビのため消毒用エタノール(エチルアルコール)を噴霧してください(可能であれば、一日一回)
- * 直射日光の当たらない、通気性のよい場所で陰干しをしてください。

[室内で乾かす場合]可能であれば、扇風機などを利用し、空気が循環するように心がけてください。ただし、歴史資料に直接風をあてるのは避けてください。

[余裕があれば]歴史資料にキッチンペーパーを挟んで吸水乾燥処理を行うこともできます(但し、無理にこじ開けないでください)。



⇒吸水乾燥処置方法の詳細をお知りになりたい場合は、ご連絡ください。マニュアルをお渡しいたします。

【写真の場合】

* 写真プリントは、清潔な水をはった容器の中でゆっくりゆすって汚れを落とします(汚れをぬぐわないでください)。あとは洗濯バサミなどではしをとめて吊るし、直射日光の当たらない、通気性のよい場所で陰干ししてください。

- * 写真のネガも直射日光の当たらない、通気性のよい場所で陰干ししてください。その後は専門業者にご相談ください。

泥などで汚れている場合

- * 泥のカタマリなど、落とせるものは落としてください。消毒用エタノール(エチルアルコール)を噴霧し、そのままの状態ビニール袋に入れます。封はとくにしないでください。⇒この段階で一度、必ずご連絡を入れてください。専門処理機関に真空凍結乾燥法や吸水乾燥法により乾燥させます。乾燥作業が終了した後に、お返しいたします。
- * 防カビのための処置で最もよいのは、冷凍凍結です。ご家庭の冷凍庫でも対応可能です。

地域の歩みを伝える貴重な歴史資料を守る活動に何とぞご理解をいただき、

ご協力いただきますようお願い申し上げます。